

横浜市立茅ヶ崎小学校 令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自分らしさを創る たくましい ちがさきっ子	<問題発見・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力> <自分づくりに関する力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
○学校教育目標を実現するために、子ども一人ひとりを大切にしながら活力と魅力あふれる学校づくりに努めます。 ・自己をコントロールする力と規範意識、を身につけるとともに、自己肯定感と自己有用感を感じることができる子どもを育成します。 ・学ぶことの楽しさ、体験することの楽しさを実感できる授業を目指し、教師力・授業力の向上を図ります。 ・地域の人々、自然、施設などに積極的に関わる「体験学習」を通して、地域協働教育の充実を図ります。 ・校舎内外の美化と安全の確保に努めます。

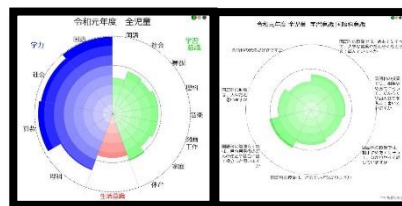
(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①交換授業や少人数制個別指導など児童の実態に即した指導方法を効果的に取り入れることで、子どもがじっくりと考える時間を確保する。 ②学習課題を設定する際に児童の考えを生かすことで、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう努める。(重点研究を中心に行う。)この学習を通して、実生活を含む様々な場で活用可能な問題発見、課題解決の資質・能力の育成につなげる。 ③学習のねらいを明確にし、学習の質を高める。また、UDを意識し「分かる楽しい授業」の実現に努める。
担当 学力・教師 力向上部会	

2 横浜市学力・学習状況調査、学校アンケート等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析 (令和元年度 横浜市学力・学習状況調査より)

全体的な学力においては、横浜市の平均を大きく上回っている。特に国語や算数で高い得点が表れている。しかし、学習意識においては、ほとんどの教科で横浜市の平均を下回っている。その中でも国語科が低く出ており、「好き」という子どもが著しく少ない。ただし、「生活や社会の役に立つ」という意識が高いため、授業改善によって、国語科の力をさらに高められると期待できる。(R元年度データ)



(2) 教科学習の状況 (令和2年度 学校アンケートより)

好きな学習の上位は、体育(27%)、図工(18%)、となっている。苦手な学習の上位は、算数(22%)、国語(21%)となっている。(1)でも記述した通り、国語や算数の習熟度は高いといえる。しかし、苦手な教科として捉えている児童が多いことが分かる。この習熟と意識の乖離を改善していく必要がある。

(3) 経年変化の状況 (令和元年度、令和2年度 学校アンケートより)

項目「自分から進んで学習に取り組んでいる。」、そう思うの割合は40%→42%(2%向上)、項目「我が子は、自ら進んで学習に取り組んでいる。」、そう思うの割合は、22%→24%(2%向上)と改善されていることが分かる。学習指導要領にある『主体的に学習に取り組む態度』を身に付けている姿が見られつつあるといえる。さらに、項目「学習中、自分の考えや思いを先で先生や友達に伝えている。」、そう思うの割合は、31%→33%(2%向上)と改善されている。昨年度に引き続き、主体的に自分の考えや思いを伝える『自分らしさを創る』茅ヶ崎っ子の育成に努めていきたい。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年		<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いをもてるように、どの学習においても日常生活と関連付けたり、他教科の学習と繋げたりして、児童の意欲を引き出す導入を行う。 ○国語の「話す・聞く」の学習において、話すとき・聞くときのルールを学び、相手意識をもって学習に取り組むよう指導する。 ○生活科では、「～したい。」という自分の思いをもてるような材や学習の支援を考える。また、これまでの生活経験を子どもたちから引き出し、様々なことに生かしていけるようにしていく。 	
2年	伝えたい内容を自分で決め、その解決に向けて交流する中で、思いや考えをもち、進んで表現	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや考えをもてるようにじっくり思考する時間を確保し、自信をもって自分の思いを伝えることができるようにする。 ○国語の学習では、他者意識と目的意識をもてるような状況を設定し、児童が主体的に課題に捉えられるよう単元の導入を工夫した活動を設定する。 ○算数の学習では、毎時の課題とめあてを明確に板書し、課題解決に取り組みやすい授業づくりを行う。また、協同して課題解決を行う場面を設定し、自分の考えや思いをもち、友達との関わりの中で考えの相違も尊重できる言葉がけを行う。 ○生活科では、他者の意見に興味をもつために、「もっと～したい。友達に聞きたい。伝えたい。」という気持ちをもてるように各学級の児童の実態に合った材、地域の人と出会わせるように単元構想を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思いや考えをもてるようにじっくり思考する時間を確保し、自信をもって自分の思いを伝えることができるようにする。 ○国語の学習では、他者意識と目的意識をもてるような状況を設定し、児童が主体的に課題に捉えられるよう単元の導入を工夫した活動を設定する。 ○算数の学習では、毎時の課題とめあてを明確に板書し、課題解決に取り組みやすい授業づくりを行う。また、協同して課題解決を行う場面を設定し、自分の考えや思いをもち、友達との関わりの中で考えの相違も尊重できる言葉がけを行う。 ○生活科では、他者の意見に興味をもつために、「もっと～したい。友達に聞きたい。伝えたい。」という気持ちをもてるように各学級の児童の実態に合った材、地域の人と出会わせるように単元構想を行う。
3年	主体的に課題を捉え、伝え合う力を高めながら感じ方の違いがあることに気づき、自分の思いや考えをまとめて表現する姿	<ul style="list-style-type: none"> ○継続的に話し方・聞き方について指導し、自分の考えと比べながら聞く力をつける。また、友達の考えを受容する雰囲気づくりをし、誰もが発言しやすい環境をつくる。 ○国語では児童の興味・関心を高め、主体的に学習に臨めるように単元の導入を大切にす。言語活動では、児童が主体的に取り組めるよう他者意識と目的意識を明確にする。 ○算数の学習では、児童の考えた複数の解の導 	

		<p>き方を黒板に掲示し、一つの課題に対しいくつかの考え方があることから、他者の考えを比べたり課題への取り組み方を意識したりできるようにする。</p> <p>○各教科で振り返りの時間を取り、一人一人がその時間の学びを整理したり、自分の考えの変化や広がり気付いたりできるようにする。</p>	
4年		<p>○伝え合う力の基礎となる学びに向かう態度や話の聞き方、話し方について意欲的に取り組めるよう指導し、自分の考えと比べながら聞く力をつける。また、友達の考えを受容する雰囲気づくりをし、誰もが発言しやすい環境をつくる。</p> <p>○学習環境を整え、各教科の特性を生かし、導入や視覚的な工夫する。</p> <p>○各教科の指導事項を確認し、児童の実態に合わせて見方や考え方を板書に視覚的に示すことで、本時の思考の流れを明確に提示する。</p> <p>○自分の考えを整理するための時間を確保し、目的に応じて表現する場を設定することで、振り返りを行い、考え方や感じ方に違いがあることに気付かせ表現できるようにする。</p>	
5年	<p>主体的に課題を捉え、伝え合う力を高めながら意見や感想を共有し、自分の思いや考えを広げて表現する姿</p>	<p>○伝え合う力の基礎となる話し方・聞き方について主体的に取り組むことができるようにする。また、児童の語彙を広げ、考えを分かりやすく表現したり相手の考えを正確に理解したりできるように言葉の指導を意識的に行う。</p> <p>○学習環境を整え、各教科の特性を生かし、導入や視覚的な工夫をする。</p> <p>○各教科の指導事項を確認し、児童の実態に合わせて見方や考え方を板書に視覚的に示すことで、本時の思考の流れを明確に提示する</p> <p>○自分の考えを整理するための振り返りの時間を確保し、目的に応じて表現する場を設定する。この活動を通して意見や感想を共有し、自分の思いや考えを広げるようする。</p>	<p>○伝え合う力の基礎となる話し方・聞き方について主体的に取り組むことができるようにする。また、児童の語彙を広げ、考えを分かりやすく表現したり相手の考えを正確に理解したりできるように言葉の指導を意識的に行う。</p> <p>○学習環境(ICT 機器など)を整え、各教科の特性を生かした導入や、視覚的な工夫をする。</p> <p>○各教科の指導事項を確認し、児童の考えを板書に表すことで、本時の思考の流れを明確に提示する</p> <p>○自分の考えを整理するための振り返りの時間を確保し、目的に応じて表現する場を設定する。この活動を通して意見や感想を共有し、自分の思いや考えを広げ、深めるようにする。</p>
6年		<p>○国語の学習では、言葉の指導を継続的に行い、児童の語彙を広げ、豊かに表現することができるようにしていく。友達に自分の意見や感想を伝えたり、互いに受けとめたり</p>	

		<p>する機会をとりいれていく。</p> <p>○算数の学習の中で、自力解決の時間だけでなく、解決方法の検討の時間を大切に、対話的な活動を通して、数学的な考え方や表現力を高めていく。</p> <p>○理科の学習では、既習の内容を確認しながら学習を進めていき、予想や仮説の根拠をしっかりと考えていく。また、実験の結果から多面的に考察できるよう視覚的な支援や実験の意図を理解できるように進めていく。</p> <p>○どの学習でも話し方・聞き方の指導を継続的に行い、友達の考えを自分の考えと比較しながら聞き、友達の考えを取り入れたり、自分の考えをさらに深めて表現したりする話し合い活動を大切にする。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">個別支援学級</p>	<p>自ら考えたり友達と話し合ったりして、自他を認め、主体的に学ぶ姿</p>	<p>○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、様々な学習場面で、自信と意欲を育て主体的に学習に取り組めるように支援、指導をしていく。</p> <p>○生活・総合をはじめ、すべての学習の中で、対人関係を円滑にするような働きかけをしていく。</p> <p>○個別だけでなく、友達同士で学び合ったり高め合ったりする、集団での学習や指導も大切に、一人ひとりが主体的に取り組める授業を展開する。</p>	